

「要望書」提出の直接行動について

賛同者各位

かねてより、「要望書」提出への趣旨に御賛同戴き有り難うございます。

区行政としては今年度中（2006年3月末）に「補助54号線」と駅前ロータリーの事業認可を強行しようとする気配が伺われます。「街づくり」の大きな部分である、圧倒的な数の私たち個別事業者の意見をまったく締め出して進行してきた故にこうして立ち上がった経緯があるにも関わらず、このまま実行されては、皆さんの気持は水泡に帰するばかりです。

そこで去年暮れの12月28日に、区長室に連絡を取り面会して戴く日程調整を申し入れたのです。ところが「区長は忙しいので会うつもりはない」と、うやむやに断られてしまいました。市民の請願、陳情、要望を管轄行政が聞く耳を持つことは、政治の基本ではないかと考えます。強固な組織もなく、十分な活動が出来ないながらも、現在約400軒の署名賛同店を得ています。区長は区報の新春対談で、「区民の皆さんにずっと住み続けたい街づくり」と、昨年策定した「基本計画」に触れていながら、下北沢の街を形成するこの人達の声を無視しようというのでしょうか？下北文化は世界にも稀な、街が作った文化です。

この危機感の中、私たちは本来の目的である「要望書提出」を実行しなければ「事業者協議会」の意味がありません。新年にもう一度申し入れを行います、のりくらりと逃げられる可能性は大です。そこで最初に申し入れた日である1月18日（水）に下記の要領にて、区長に「要望書」提出を実行したいと思えます。賛同者の皆さん、どうかこうした事情を推察されて、行動の賛意と共に一人でも多くの方の出席を願っています。

最後になりましたが、要望書提出を実行した後も、必然的に当「事業者協議会」は、行政に対して街づくりを考える交渉主体として、永続展開していく組織であることをご諒承ご確認ください。

2005年1月10日

「54号線の見直しを求める下北沢事業者協議会」

代表 大木雄高 (Lady Jane)

日時：1月18日（水）

集合場所：下北沢 シェルター

13：00～13：30 集会・音楽（志田歩、大熊ワタル、曾我部恵一）

13：30～14：30 記者会見

大木雄高（“Lady Jane”、事業者協議会代表）

平野悠（“シェルター”、世話人）

石本伸晃（“コモン法律事務所”、世話人）

14：30～16：00 区役所（松陰神社前）へ移動

音楽を鳴らしながらパレードをします！（雨天決行）

16：00～ 区長に要望書を提出